

## 作業船（フローティングドック）に子供達の絵

当社（東洋建設株式会社 社長 赤井憲彦 東京都江東区青海二丁目）は、鳥取港において、ケーソン製作工事用の作業船（フローティングドック）「美保号（みほごう）」の船体に、鳥取市立賀露小学校（渡辺雅子校長 鳥取市賀露町778）の児童らが描いた絵を1月18日から掲示している。

当社は国土交通省から受注した鳥取港千代地区防波堤(第1)(西)工事(その2)において防波堤の土台となるケーソンを製作している。この工事は、当社保有のフローティングドックと呼ばれる船の上でケーソンを製作し、その後海上輸送して定位置に設置する方法を採っている。そこでこの作業船に子供達の絵を飾ることで、当工事をご理解いただきながら、地元の港に親しんでもらおうと、昨年10月、鳥取港に程近い鳥取市立賀露小学校へご提案したところ、快諾を頂いたものである。

賀露小学校では11月から全校児童に対し絵を募集、100点あまりの中から最優秀作品として選出した、諸山 玲（もろやま れい）さん（2年生）の作品をご提供下さることになり、この作品を大パネル（たて7.2m よこ9.9m）に加工し、6年生が色付けを手伝った。パネルは今年1月に完成し、港からよく見える船の胴体に3月まで飾られている。

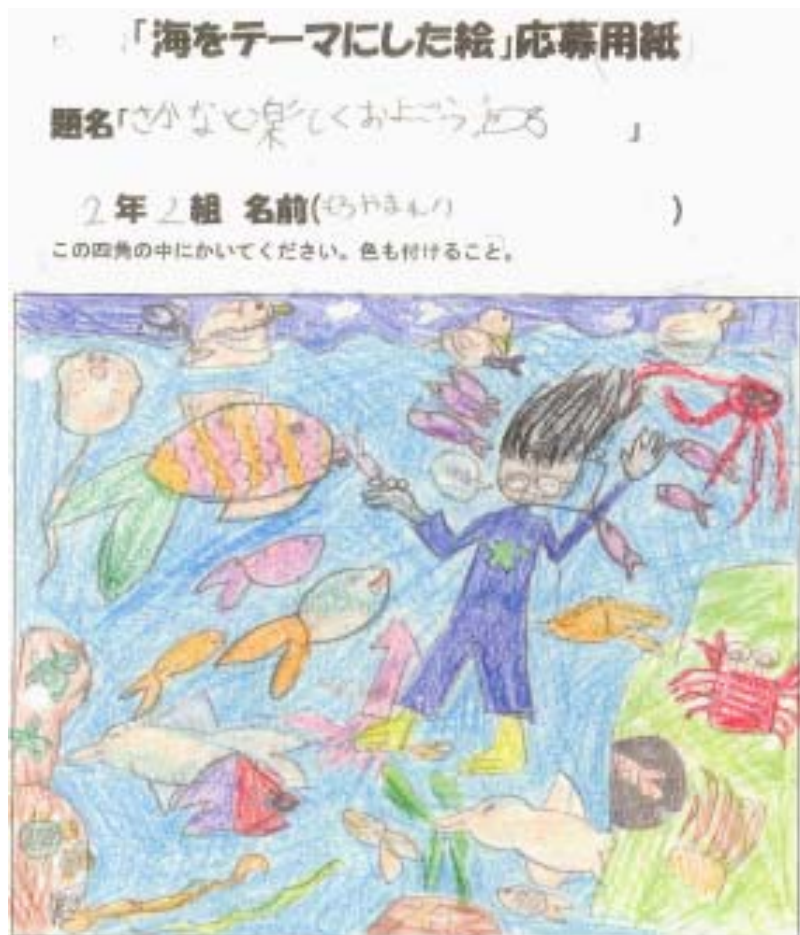
### ■位置図



船の  
停泊地

### ■ 工事概要

工 事 名：鳥取港千代地区防波堤(第1)(西)工事(その2)  
 発 注 者：国土交通省 境港湾・空港整備事務所  
 工事場所：鳥取県鳥取市港町（千代地区）及び地先  
 工 期：2009年09月～2010年03月  
 工事内容：ケーソン製作1函、ケーソン進水1函、  
 ケーソン仮置1函  
 美 保 号：排水屯 1366t  
 全長 45m 幅 32m



選ばれた作品



船と完成したパネル